

第 14 回静岡県看護学会への参加ありがとうございました。



とても良いお天気で、富士山が学会を応援してくれているような素晴らしい景色でした。

今年のテーマは、つなぐ～共生社会の実現を目指して～です。

まず、基調講演でご登壇いただいた認定 NPO 法人マギーズ東京共同代表の秋山正子先生のご講演に心奪われました

自身の病気や家族のことで悩んでいる人や困っている人がよく話を聞いてもらえる環境を整えてこられた先生、地域の中で居場所づくり、早めの相談窓口「暮らしの保健室」は、医療も介護も福祉も分かってつなぐことができる

のは看護職ではないかと、取り組みの実際を事例で説明してくださいました。



当たり前ですが、一つひとつの事例は、同じものは一つもなく、良く話を聴いて対応している様子に、先生の覚悟と看護の醍醐味を感じずにはいられませんでした。

そして、研究報告や実践報告、今年は示説での実践報告も口述発表、質疑応答が設けられました。



県内の様々な領域で実践している看護職が一堂に会して情報交換し、得た学びを明日から実践できるのは、この看護学会だけです。

「タッチング効果」や『「食べる」に繋げる看護』、「受容過程を用いた考察」、「患者自身の足病変への関心の変化」などなど、ここへは全てを書ききれませんが、素晴らしい看護研究、看護実践が報告されました。



参加された皆さんは、まさに、静岡県の看護がつながっていることを実感されたのではないのでしょうか

学術研究推進委員会企画 加藤智子委員長が講師を務めたランチオンセミナー「実践報告にチャレンジ！」も圧巻でしたね

事例を用いた説明がとても分かりやすかったと評判でした

皆さん、お疲れさまでした。
また来年お会いしましょう。

